



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 横内 達治 TEL 03-6628-8480
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,959	△1.3	△453	—	△373	—	△396	—
2024年3月期第1四半期	7,053	7.5	△417	—	△384	—	△283	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △330百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △287百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△37.85	—
2024年3月期第1四半期	△26.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	32,612	12,027	36.1	1,124.51
2024年3月期	32,032	12,629	38.7	1,183.65

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 11,782百万円 2024年3月期 12,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,200	1.6	670	310.1	700	130.5	200	—	19.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	11,459,223株	2024年3月期	11,459,223株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	981,653株	2024年3月期	981,653株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	10,477,570株	2024年3月期1Q	10,565,082株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しに足踏みがみられるもののインバウンド需要が回復しつつあり、外食・旅行などの民間消費が伸びるなど国内需要を中心に緩やかに回復しております。しかしながら、世界的な資源価格の高騰、為替の大きな変動、賃上げに伴う人件費の増加など、価格転嫁による物価の高騰による景気への影響は依然予断を許さない状況にあります。

このような環境の中、当社グループは、店頭販売や通信販売のさらなる拡充や、お客様の購買回復に向けた販売促進を積極的に展開してまいりました。また、社内業務の効率化、平準化に取り組むとともにお客様のニーズに対して、きめ細やかな対応をするため、品質・価格・品ぞろえを中心に店舗政策に取り組み、人材育成を強化することによりお客様満足度向上に努めてまいりました。当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高が、69億59百万円(前年同期比1.3%減)となりました。営業損益は、4億53百万円の損失(前年同期は4億17百万円の損失)となり、経常損益は、海外子会社における為替差益などにより3億73百万円の損失(前年同期は3億84百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、3億96百万円の損失(前年同期は2億83百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 宝飾品

当セグメントでは、70周年記念キャンペーンなどお客さまとのコミュニケーションを強めていく取り組みや、人材育成の強化を進めてまいりましたが、宝飾セグメントに対する影響は限定的な範囲にとどまり、外部顧客への売上高は、56億84百万円(前年同期比2.8%減)となり、セグメント損益は3億90百万円の損失(前年同期は3億19百万円の損失)となりました。

② 眼鏡

当セグメントでは、店頭での打ち出し等の見直しや人材育成の強化を進めたことにより、外部顧客への売上高は、7億21百万円(前年同期比14.6%増)となり、セグメント損益は24百万円の利益(前年同期は22百万円の損失)となりました。

③ 食品販売・飲食店

当セグメントでは、よりオリジナリティのある商品開発や人材育成に取り組むなど、マーケットの変化に対応してまいりましたが、外部顧客への売上高は、5億52百万円(前年同期比3.5%減)となり、セグメント損益は88百万円の損失(前年同期は75百万円の損失)となりました。

当四半期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	349	68	35
新規出店	1	3	-
閉店	2	1	-
当四半期末店舗数	348	70	35

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の320億32百万円より5億80百万円増加し、326億12百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加7億45百万円及び商品及び製品などの棚卸資産の増加1億85百万円と、受取手形及び売掛金の減少4億44百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末の194億2百万円より11億82百万円増加し、205億85百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加6億85百万円、その他の流動負債の増加6億9百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加2億23百万円と、賞与引当金の減少1億86百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末の126億29百万円より6億2百万円減少し、120億27百万円となりました。主な増減は、剰余金の配当2億82百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失3億96百万円などによる利益剰余金の減少6億79百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました連結業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,413	7,159
受取手形及び売掛金	2,547	2,103
商品及び製品	11,367	11,417
仕掛品	1,634	1,582
原材料及び貯蔵品	3,647	3,834
その他	219	263
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	25,830	26,359
固定資産		
有形固定資産	1,598	1,628
無形固定資産	116	129
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,327	2,309
その他	2,161	2,186
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	4,487	4,495
固定資産合計	6,202	6,253
資産合計	32,032	32,612
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,728	3,664
1年内返済予定の長期借入金	3,896	4,119
未払法人税等	102	31
賞与引当金	404	217
その他	2,532	3,142
流動負債合計	10,664	11,175
固定負債		
長期借入金	6,486	7,172
役員退職慰労引当金	743	749
退職給付に係る負債	1,400	1,379
資産除去債務	104	105
その他	3	2
固定負債合計	8,738	9,409
負債合計	19,402	20,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	7,917	7,237
自己株式	△662	△662
株主資本合計	12,210	11,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	34
為替換算調整勘定	154	212
退職給付に係る調整累計額	2	3
その他の包括利益累計額合計	191	250
非支配株主持分	228	244
純資産合計	12,629	12,027
負債純資産合計	32,032	32,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,053	6,959
売上原価	3,134	3,093
売上総利益	3,919	3,866
販売費及び一般管理費	4,336	4,319
営業損失(△)	△417	△453
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	2
受取手数料	6	7
為替差益	34	80
その他	3	2
営業外収益合計	47	93
営業外費用		
支払利息	11	11
その他	3	1
営業外費用合計	14	12
経常損失(△)	△384	△373
特別利益		
助成金収入	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
減損損失	15	13
特別損失合計	15	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△398	△384
法人税等	△104	5
四半期純損失(△)	△293	△390
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△283	△396

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△293	△390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	-
為替換算調整勘定	11	58
退職給付に係る調整額	△2	1
その他の包括利益合計	6	59
四半期包括利益	△287	△330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△277	△336
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月15日 取締役会	普通株式	286	27円00銭	2023年3月31日	2023年6月14日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月27日 取締役会	普通株式	282	27円00銭	2024年3月31日	2024年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	5,850	629	573	7,053	—	7,053
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,850	629	573	7,053	—	7,053
セグメント損失(△)	△319	△22	△75	△417	0	△417

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額 0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「宝飾品」及び「食品販売・飲食店」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識し、それぞれ、8百万円、7百万円を特別損失に計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	5,684	721	552	6,959	—	6,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,684	721	552	6,959	—	6,959
セグメント利益又は損失 (△)	△390	24	△88	△454	0	△453

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「宝飾品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識し、13百万円を特別損失に計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	96百万円	91百万円